

## 原子力機構・原子力科学研究所で企業展示会開催

2018.11.7



多数のご来場を戴いた会場風景



JAEA  
宮川部長

茨城県  
富田技監

【発表者】 左から、出展企業紹介した、(株)スペースフォトン/川島氏、(有)リビング館ホンダ/高橋氏、日立 パワーソリューションズ/福田氏と、JAEA 計画管理部次長/根本氏、同産学連携コーディネータ/福井氏、三枝氏

(国研)日本原子力研究開発機構(JAEA)原子力科学研究所(原科研)と地域企業の技術交流を主目的とした、茨城県研究開発支援型企業による技術展示会が、11月7日11時30分から、JAEA原科研先端基礎研究交流棟1Fにおいて開催されました。この展示会は、JAEA、茨城県、いばらき成長産業振興協議会、県内中性子利用連絡協議会が主催し、(株)ひたちなかテクノセンターなどが共催して開催されたものです。既に年次の恒例行事として定着し、今回も18社が参加し展示会開催中の3時間半に160名の研究者と技術者に来訪いただきました。

展示会場では、冒頭、JAEA研究連携成果展開部長/宮川明氏と茨城県産業戦略部技監/富田俊郎氏による、本展示会のねらいやこれに寄せる相互の連携とシーズ展開期待などを中心とした挨拶がありました。また、企業展示会と並行して産学連携交流会も催され、企業側を代表して、(株)スペースフォトン、(有)リビング館ホンダおよび(株)日立パワーソリューションズの3社が参加企業を代表して自社紹介を行った他、JAEAからも3件の研究開発や施設の現状とシーズ展開事業や その具体的なシーズ例紹介があり、出展企業とJAEA双方向の発信による技術交流の場ともなりました。特に本年は、展示会開催中、研究者や技術者の来訪が途切れず、多くの方々に展覧いただき盛会裡に閉幕しました。同時にアンケート等にも多くの方々の意見が寄せられ、今後、原科研と参加企業との一層の交流と連携加速が期待されます。

## 原子力発電・東海発電所で 廃止措置セミナー 2018.12.18

日本初の商用原子炉として知られた日本原子力発電株式会社(原電)において、12月18日(火)、13時20分から同社東海発電所の廃止措置状況見学と講演会・意見交換会が開催されました。これは長期に継続実施される原子力施設の廃止措置等の関連業務を、一つのビジネスチャンスとして捉えて実施されたものです。

当日は、原子力分野の機器、運用支援、保守検査関連企業はもとより、このテーマに強い関心を寄せる地域企業関係者など30名(含事務局)が参集しました。

最初に参加者全員が、原電構内バスにより東海発電所廃止措置に基づく解体現場を見学した後、テラパーク会議室にて同社常務執行役員/山内豊明氏から「東海発電所の廃止措置状況と今後の計画」と題して講演いただきました。その後、その内容や関連事項を含めて建設的な質疑応答や意見交換が行われました。これらの議論は、ビジネスの切り口として開花し、本会を主催した、いばらき成長産業振興協議会、及び当県内中性子利用連絡協議会会員企業などの動向が注目されます。

## 会員(法人)異動のお知らせ

(H30年12月31日現在/敬称略)

### ◆ 新規入会 (合計会員企業数：226社)

・株式会社 東精エンジニアリング

後藤 克志 (取締役)

〒300-0015 土浦市北神立町2-14

電話：029-830-1882 FAX：029-830-1891

### ◆ 担当者変更 (変更後)

・原子力エンジニアリング株式会社 向中野 政則 (総務課課長代理)

## ■■■ イベントのお知らせ ■■■

### ● 廃止措置除染と放射能計測技術講演会(仮)

◆日時：2019年1月28日(月) 13:30から

◆会場：ひたちなかテクノセンター

(会員の皆様には既に1/8付にてご案内済の件です)